

令和5年度

# 認定こども園の自己評価表

社会福祉法人 盛愛育会  
幼保連携型認定こども園  
盛こども園

**【評価対象期間】**

令和5年4月1日から令和6年3月31日

**【評価責任者】**

大船渡市盛町字沢川47番地1 盛こども園

管理責任者 久保田ユウ子

## 認定こども園における自己評価の結果

A: たいへんよい  
 B: よい  
 C: 一部検討を要する  
 D: 改善を要する

項目

### ◎保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ0歳児から就学前までの保育・教育を行っている。教育課程は前年度の反省や気づきが生かされるよう職員間で話し合い幼児の実態に合うようにしている。研修や会議を通して取り組むべき課題についての気づきを共有し共通理解を大切にしたい思いがあるが、今後も検討が必要である。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしている。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育・教育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				一人一人の発達を踏まえた計画を立て、さらに個別に支援が必要な園児は個別の指導計画をたて特性に応じた援助ができるよう配慮している。年間指導計画を基本とし保育日誌や記録を通して振り返りを行い、次に活かしている。幼児教育専門委員に保育についてアドバイスをもらいながら環境構成や支援について学んでいる。素材や用具の特性や用法を学び活用の幅を広げている。保育士間の共有や検討があることで更なる向上に努めたい。
	(2) 環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育・教育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。			○		年齢による発達に即した流れで過ごしている。十分遊べる時間の確保が必要である。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				感染症が大分落ち着き、参加人数の制限なく行事を開催する機会が増えた。より多くの方に子どもの姿を見てもらうことで、園への関心も広がっていることを実感する。保護者の要望については多岐にわたり応えることが難しい場合もあるが、丁寧な説明をすることで、理解を得ている。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎保育・教育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策		
		A	B	C	D			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。		○			職員配置を工夫し、全体でも協力できる体制づくりを目標としている。クラス単位だけにならないよう連携を意識して動けるようリーダー、それぞれの役割を確認しながら進めている。役割だけをおこなうのではなく、気づきを大切にすることの共有が課題としてある。	
		(2) 職員の配置は適材・適所か。		○				
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○					
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			職員会議を定期的に行う他、状況によっては、臨時会議を行い共通理解、情報交換に努めている。参加していない職員には、会議の記録の回覧や掲示等で更なる周知を行っているが全体の共有までは難しく今後の課題としてあげられる点である。異年齢保育に関しては、誕生会や散歩等日頃の取り組みが徐々に増えている。	
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○				
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○					
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○				
		(4) 評価・資料(諸記録)を集積しているか。		○				
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○					毎月安全教室、避難訓練を行い安全管理に努めるとともに園児への指導を行っている。繰り返し行うことで、園児の取り組みが定着していると感じる。定期的に保健だよりを発行し、家庭への啓もうにも力を入れている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。		○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○					
	情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報을適正に取り扱っているか。	○					個人情報保護について学び共通理解をし、配慮や取り扱いについて周知し実行している。また、個人情報が含まれる書類の管理や処理の取り扱いについても情報が見えないように配慮している。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○					
	施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○					安全点検、遊具点検、消防用設備点検を行い安全を確認している。防犯カメラを園の各入口(3か所)に設置し対応するとともに訓練等で安全確保に努めている。保護者へのお知らせは掲示板(玄関、門)を使用し、連絡事項の確認や感染症の状況、写真の掲示による活動の紹介等有効に活用している。
(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○						
(3) 不審者等に対応する周到的配慮を行っているか。			○					
(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○						

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			感染症対策による制限が緩和され、小学校の参観や、情報交換の場へも出席している。年長児と一年生の交流会が行われた。中学性、高校生とのふれあい体験事業を多く受入れ、こどもたちにも楽しい体験となっていると同時に兄弟の少ない中・高生にも貴重な体験となっている。
	(2) 参観や保育・事業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○				
	(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。			○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか。			○		感染症対策による制限が緩和され、地域との交流も再開され交流の機会が増えた。地域行事への参加や、地域に足を運ぶことでのふれあいが子どもたちにも地域の方々にもよい交流となっている。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○			
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○			
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。	○				園開放は、回数や行う場所を増やし利用が多くなってきている。その中で、入園に向けてのプレ体験や子育ての悩みを話せたり情報提供の場としても活用されている。未入園児の電話や対面での子育て相談の活用も、周知方法を工夫し、利用しやすく改善していきたい。嘱託医との連携をとりながら子どもの発達の課題の共有する体制ができた。
	(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○			
	(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○			
	(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○					
	情報の発信	(1) こども園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				各クラスの活動の掲示やおたよりで活動を分かりやすく知らせている。
(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			メール配信で災害時・感染症の情報を発信。園のようすを手紙により隔月に発信している。		
外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。			○		第三者評価は今後導入を検討している。	
(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○				行事ごとにアンケートを行い意見の把握に努めている。	